

事務事業名		佐野市交通安全母の会連合会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり					担当係	生活安全係	担当課長名	菊地昌之	
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 交通安全意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1560	一般	2	1	10	佐野市交通安全母の会連合会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S48年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
佐野市交通安全母の会連合会に補助金を交付し、同連合会が行う交通安全活動を支援している。		(市の活動) 佐野市交通安全母の会連合会に補助金を支出、市が事務局						
※佐野市交通安全母の会連合会とは、新入学児童等の交通安全の推進を目的にして、佐野市地域女性会を母体として構成している団体である。		(佐野市交通安全母の会連合会の活動) 新入学児童へパンフレット等の交通安全啓発品を配布、市の交通安全対策事業への参加、総会及び研修会の開催						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		団体の活動数	事業	18	17	16	16	16
		団体の活動規模(啓発活動等参加者数)	人	840	850	840	840	840
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
① 市民 ② 新入学児童		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
(交付対象団体) 佐野市交通安全母の会連合会		市民(人口)	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522
		新入学児童数(小学生)	人	942	989	910	910	910
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
① 交通安全に対する意識を高めてもらう。 ② 交通ルールを守ってもらう。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		交通事故件数/市民	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		交通事故件数	件	460	437	540	530	520

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	50	50	50	50	50	
	事業費計(A)	千円	50	50	50	50	50	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	50	補助金	50	補助金	50
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	100	100	100	70	70		
人件費計(B)	千円	389	394	394	276	276		
トータルコスト(A)+(B)	千円	439	444	444	326	326		

事務事業名	佐野市交通安全母の会連合会支援事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	交通量の増大に伴い交通事故が増加し、早急な交通安全対策が必要となり、その対策の一環として交通関係団体の支援を行い、協力を得て啓発活動等を実施し、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指して、昭和48年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、東北自動車道及び北関東自動車道の開通や大型ショッピング出店など、交通環境の変化により死亡事故等の重大な事故が増加している。特に、高齢化社会に伴い高齢者が当事者となる交通事故が増加している。また近年は、女性が当事者となる死亡事故が多発し、対策が迫られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年度の補助金等検討委員会の委員から、地域女性連絡協議会への統合を検討するようとの提言があった。当連合会が実施する交通安全活動は県の重要な施策のため、県より平成22年12月に事業継続の要請があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	交通安全母の会主催事業の内容を見直し、啓発活動の充実、交通安全事業への協力を行なった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	佐野市交通安全母の会連合会が新入学児童への啓発や街頭啓発等の事業を実施し、交通安全の啓発を図ることは市民の交通安全意識の高揚を高めるとともに、交通事故の減少に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	安全・安心のまちづくりの一環として、交通事故防止を図ることは市の重要な責務であるが、市単独で交通事故防止を図るには限度があるため、佐野市交通安全母の会連合会の活動を支援し、協力を得て交通事故の減少を図ることは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、佐野市交通安全母の会連合会が行う活動を支援し、市民への交通安全啓発及び交通安全意識の高揚を図り、交通事故の減少を目指す目的で実施しており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	交通事故は減少傾向にあるが、街頭啓発等の交通安全対策事業を充実させることで、より向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名   地域女性連絡協議会 事務局及び役員と話し合いを行い検討した結果、事業内容や県の担当部署が違うなどの理由のため統合はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	団体の決算書等の活動内容を見直した結果、もう減額の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	この事業は補助事業のため、負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	現在行なっている事業を他の交通安全団体で継承でき、かつ、会員がその団体に活動できる環境ができれば休止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	会員相互の協力体制を充実させていく必要がある。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					